

レベルアップ講習会 ~交通安全教室~

平成28年9月27日(火) 10時~11時30分

ファミリー・サポート・センターの援助活動では、まかせて会員さんに車での送迎をお願いするサポートがたくさんあります。全国的にも、子どもを巻き込むという思わぬ悲しい事故が多発しています。大切な子どもたちを守るためには、普段からどこをどのように注意すればよいかなど、事故の実例を聞きながら教えていただきました。

亀岡警察署
交通課交通指導係主任
下尾 雅子さん
京都府警察シンボルマスコット
ポリスマろん君

繋いでいる子どもの手が、離れてしまわない為の手のつなぎ方を教えてもらいました。手首をしっかり握りましょう。



横断歩道を渡る前に車の確認をする時、車の中の運転手の視線がどこを向いているかも確認します。



近づいてくる車から、子どもを守る場合、体の使い方

走っている車から子どもを守るには、大人が常に車側になるようにする。



子どもが1人の時は、親が手首を持つ。

子どもが2人の時も、それぞれの手首を持ち、縦にならんで歩かせてください。



子どもが3人の時は、一番上の子どもに親の服などをしっかりつかませて、あとの2人はそれぞれの手首をつかみ、縦にならんで歩かせてください。

参加者(まかせて会員さん・両方会員さん)の感想

.....
* 普段から気を付けていた事でしたが、とても勉強になり、自分自身の復習になりました。毎年、参加できたら良いと思います。

.....
* 小さな子どもは目も手も離さないように注意が必要だということを改めて学びました。今日の講習の内容を自分の子どもたちにも知らせようと思います。

.....
* ほんのちょっとした油断で子どもを守れないことが多く、確実な確認の上での大人の行動が大事だと思います。

.....
* 亀岡は歩道のない道も多く、普段より気を付けて行動はしていますが、今一度、安全に気をつけるように自分の子どもと話をしたいと思いました。

.....
* 子どもたちに解りやすくお話ししていただき、楽しい講習会でした。

.....
* 普段は交通安全に対してそれ程注意を払っていませんでしたが、特に幼児を連れて道を歩く時には講習を思い出して行動しようと思います。

.....
* 小さい子どもの手首を掴んで歩くというのは初耳で「なるほど！」と気をつける点だと思いました。